



UNAIDS プレスリリース

コミュニティやパートナーが、HIV 対策の成果持続に向け国連に解決策を提言

2026 年 5 月 15 日 ニューヨーク/ジュネーブ HIV に関するマルチステークホルダー（多様な関係者の）公聴会がニューヨークの国連本部で開催され、オンライン参加も含めた市民社会や HIV 陽性者、パートナーなど 200 以上の組織の代表が、新たな政治のリーダーシップと持続可能な資金確保、コミュニティに対する支援の強化などを求めた。急激な資金削減や人権侵害により世界の HIV 対策の長年の成果が危うくなっているとの懸念が高まる中での開催だった。

公聴会は、エイズに関する国連総会ハイレベル会合（2026 年 6 月 22～23 日）に向けた準備の一環として実施された。国連加盟国は今後 5 年間の世界の HIV 対策の指針となる新たな HIV/エイズに関する政治宣言の採択を目指し、ハイレベル会合で協議を行うことになっている。

国連総会のアナレーナ・ベアボック議長（ドイツ）は公聴会の冒頭で「利害関係者としての皆さんの力が、これまで以上に必要な時期はありません。皆さんが奉仕するコミュニティに公聴会の決定が確実に届くよう働きかけを続けるなどご尽力ください。イノベーションの存在感が増し、豊富な資金もあるこの世界で、力を合わせて戦いを次の段階へと進めずにいる理由はありません」と述べた。

このイベントは国連加盟国に対し、市民社会の代表や HIV 陽性者から現場での実体験を聞き、同時に HIV 対策が直面する喫緊の優先課題や新たに対応すべき課題について知る機会を提供した。

「エイズ対策は常に勇気に支えられてきました。柔軟な対応力と激しい怒り、そして命の価値が異なるという不正義を決して受け入れない、そんな強い意志が支えてきたのです」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は開会の挨拶で述べた。「今こそ、その勇気が再び必要です。公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を果たす、それは極めて現実的な可能性として受け入れることができます。今後 5 年間、力を合わせて必要な行動を起こしていけば、世界中のどこでも、すべての人にとって、エイズ終結は可能になるのです」

市民社会組織の代表らは、HIV 対策の長期的な継続性と持続可能性の確保が必要なことを強調した。公聴会で提起された課題と懸念事項の多くは、国際資金の減少が続いていることの影響に

う対応し、各国が国内対策とその資金確保に力を入れるにはどうしたらいいのか。そして、とりわけ HIV の影響を大きく受けているキーポピュレーションの人たちによる、その人たちのためのコミュニティ主導型サービスの非常に重要な活動をどう支援するのかということに議論は集中した。

「昨年の混乱は私たちを試す試練でした。同時に、この改革と再編の時期は、新たなリーダーシップを発揮する絶好の機会でもあります」と、世界 HIV 陽性者ネットワーク (GNP+) のフローレンス・リアコ・アナム共同事務局長は述べている。「指導者はいま、緊急対応から持続可能なシステムへと、対策を移行させていかなければなりません。それは HIV 陽性者が 2031 年以降も存在し、そのニーズは今と同じように重要であると認識する必要があるからであり、同時に誇り高き進化でもあります。国境や立場を超えた多国間 HIV 対策を特徴づけてきた、あの素晴らしい精神を、これからも受け継いでいきましょう」

マルチステークホルダー公聴会は、ハイレベル会合に向けた集中的な提言活動と啓発活動の幕開けでもある。コミュニティや市民社会の組織は引き続き、5 月 13~19 日の週に政治宣言をめぐる交渉に対する優先事項の策定を進めている。

ハイレベル会合の共同ファシリテーターを務めるボツワナのチャールズ・マソール国連常駐大使は「ボツワナの HIV 対策は成功事例として評価を受けることがしばしばありますが、その成果は政府だけで達成したわけではありません。政府および社会全体に対し、エイズによる人的被害から目を背けることを許さなかった活動家やコミュニティのリーダーたちが推進し、今もなお推進を続けているのです。政府のリーダーシップと市民社会の擁護活動とのこの連携は不可欠です。ボツワナだけでなく世界中で進歩を持続させるために今後も不可欠であり続けるでしょう」と述べた。

同じくハイレベル会合の共同ファシリテーターを務めるジョージアのデイビッド・バクラゼ国連常駐大使は「メッセージは明確です。2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を果たすことは可能ですが、そのためにはコミュニティの継続的なリーダーシップと関与、そしてコミュニティの活動への支援と制度化が不可欠です。コミュニティはプログラムレベルでの成功に不可欠であり、予算を削減できる単なる一項目ではありません。重要なインフラであり、エイズ終結には欠かせない存在なのです」と語っている。

総会議長によるマルチステークホルダー公聴会報告書は数日中に公表予定で、6 月 22~23 日に開催されるハイレベル会合に向け、加盟国が HIV/エイズに関する新たな政治宣言を協議する際の重要な情報源となる。この報告書およびハイレベル会合に向けた市民社会声明は、UNAIDS 公式サイト「国連総会 HIV/エイズに関するハイレベル会合」特設ページで公開される。

<https://www.unaids.org/en/2026-high-level-meeting-aids>